



&lt;お知らせコーナー&gt;

**平成20年度まちづくり月間****～国土交通大臣表彰受賞者の紹介～**

第26回まちづくり月間中央行事が、6月25日（水）に都市センターホテル「コスモスホール」（東京都千代田区）にて開催されました。

国土交通省では、住民の積極的な参画のもとに創意と工夫を生かした豊かでうまいのあるまちづくりを推進するため、昭和58年度から毎年6月を「まちづくり月間」と定め、まちづくり功労者等に対する国土交通大臣表彰をはじめとする様々な啓発活動を実施しております。

このたび、「平成20年度まちづくり月間中央行事」において、「まちづくり功労者」として全国54団体・個人が表彰されました。

茨城県では、まちづくりに功績のあった団体『龍ヶ崎市』、『茨城県建築士会桜側支部』の2団体が受賞いたしました。

おめでとうございます。



受賞者のみなさま



表彰式の様子

**【受賞団体の紹介】**

国土交通大臣の表彰を受けました、『龍ヶ崎市』、『茨城県建築士会桜側支部』について、紹介いたします。

**○龍ヶ崎市**

龍ヶ崎市では、中心市街地の活性化を目的として、まちを訪れた人たちが、楽しく回遊できるように街の歴史や市の特産であるコロッケなどを紹介するとともに、本町商店街大通りを健康・ご利益街道としてPRするために龍とコロッケをデザインした街なか案内板を設置いたしました。

平成13年度に龍ヶ崎市が策定した「龍ヶ崎市中心市街地活性化基本計画」に基づき、市商工会が「龍ヶ崎 TMO 構想」という商業振興関連プロジェクト

**<国土交通大臣表彰の趣旨>**

**魅力あるまちづくりの推進につとめ、著しい功績のあった個人又は団体（地方公共団体を含む）を「まちづくり功労者」等として、国土交通大臣が表彰するものです。**



会長あいさつ



を立案し、市は市商工会と協働して中心市街地の活性化を図ることとしました。案内板の設置については、この「龍ヶ崎 TMO 構想」なかで市街地活力センター「まいん」周辺の「まいん周辺商業施設整備事業」に計画されたものです。

平成18年度に市関係課、商工会、一般市民や商業関係者、学識経験者16名による市民ワークショップを3回開催し、主に市街地中心部に拡張整備する「にぎわい広場」の設計等について検討し、この中で案内板の内容やデザインについても検討され、その結果、市商工会が作成した「龍ヶ崎まちあるきMAP」をベースにして案内板の表示内容を作成し、「龍」と「コロッケ」をモチーフとすることが決定されました。



街なか案内板



街なか案内板

商店街を訪れた人たちからは、「わかりやすく、面白い。コロッケが意外性があるといい」という声が多く聞かれ、地元商店街の反応も、「親切な内容となっている。デザインも人目をひくのでいい」と好評であり、中心市街地の活性化に一役買っています。

## ○茨城県建築士会桜川支部

茨城県建築士会桜川支部の有志が、ボランティアで個人宅の既存のブロック塀に杉板をはり、黒ペンキを塗って黒板塀を出現させ、歴史的街並みに調和するよう街並み集景作業を実施しました。

茨城県建築士会桜川支部は、平成10年から旧真壁のまちおこし事業を構想しており、平成17、18年の2年間、住みやすい美しい情緒豊かなまちを形成するために、地元まちづくり団体や地域住民、学生等「まちづくりワークショップ」を開催しました(ワークショップの名称は「発見まかべ探検隊」)。

その中で企画・立案されたのが「景観に配慮したまちづくり事業」です。「塀」は、街並み景観を形成する大きな景観要素であるため、当該事業では特に「塀」着目し、ブロック塀などを周囲の景観に合わせた材料とデザインにより「化粧直し」しようとしたのがその内容です。

集景作業を行った個人宅は見芽通りに面しており、この通りには市歴史的民族資料館が建ち、所々に黒板塀が建てられているため黒板塀に修景しました。



黒板塀



作業風景

今後も多くの人々と協働しながら、持つ技術を多いに活かしたまちづくり活動を展開していく予定です。